

所属

氏名

◆読売新聞は毎週金曜日に「読売中高生新聞」を発行しています。中学・高校生に向けたオリジナル特集はもちろん、前週に発生した主要なニュースを、その後の動きも加味しながらコンパクトにまとめたり、本紙の記事にわかりやすい解説を加えて再録したりして、一般の読者にとっても、一週間の出来事を整理するのに大いに役立ちます。また、ティーンエイジャーのトレンドや消費動向を探るのにも最適です。

今回は1月13日本紙朝刊の「17年訪日客 最多2869万人」の記事に背景説明を織り込んだ1月19日中高生新聞の記事からの出題です。

訪日外国人2869万人

社会

2017年に日本を訪れた外国人旅行者数が約2869万人となり、5年連続で過去最高を更新した。2年後の東京五輪に合わせ、訪日外国人を4000万人まで増やす目標を掲げる政府にとっては、ますます期待の膨らむ数字だ。

5年連続最高更新

訪日外国人は右上の図のように、東日本大震災があった11年に622万人に落ち込んだが、その後は増加を続け、この6年で5倍近くに急増した。訪日外国人による消費額も、17年は4兆4161億円となり、史上初めて4兆円を突破。こちらも5年連続で、これまでの最高額を更新している。

背景には韓国、台湾などから国内へのクルーズ客船や格安航空会社の便数を増発した影響が大きいとい

う。政府が中国や東南アジアからの旅行者に対するビザの発給条件を緩めたことや、旅費が安く抑えられる円安傾向が続いていることなども追い風になっている。

人口減少や地方の過疎化が進むなか、訪日外国人を増やして消費を拡大する「観光立国」は、政府の成長戦略の大きな柱だ。不足気味の宿泊施設を補うため、今年6月にはマンションや民家などの空き部屋に旅行客を有料で泊める「民泊」も解禁されることが決まっている。政府は今後、観光客が比較的少ないアメリカやヨーロッパ、オーストラリアなどへのPR活動を強化する方針で、訪日外国人の増加は引き続き加速するとみられている。

一方、観光地からは訪日外国人が急激に増えたことに伴う負の側面も



報告されている。多くの歴史・文化遺産がある京都市では、観光バスが列をなして住宅街にまで押し寄せ、路上駐車などの苦情が後を絶たない。路線バスでは外国人の利用が増え、発着が遅れるなどの支障も出ているという。

「観光立国」の実現に向けて、欠かすことができないのは国民の理解だ。政府には対外的な施策だけでなく、"内向き"の努力を尽くすことも求められる。

【1】訪日客が増えた要因を50字以内で書いてください。

【2】グラフと記事の情報から、訪日外国人旅行者数の推移と政府の目標を100字以内で書いて下さい。

【3】訪日外国人が急増したことによる負の側面について、100字以内でまとめてください。

【4】訪日外国人の増加傾向を定着させ、旅行者の消費を促すには、どのような方策が求められますか。アイデアや課題なども含め、400字以内で書いてください。